

平成 21 年度 シラバス	学年・期間・区分	4年次・後期・B群
	対象学科・専攻	情報工学科
情報技術実習Ⅱ (Technical Training in Information Engineering II)	担当教員	豊平隆之 (Toyohira, Takayuki)
	教員室	情報工学科棟5階 (Tel. 42-9090)
	E-Mail	toyohira@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・実習 / 学修単位〔講義Ⅰ〕 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(80分)〕 ×15回	
〔本科目の目標〕 本科目では、LaTeX2e を用いて、レポートや論文などの文書を見栄えをよくする方法を習得する。		
〔本科目の位置付け〕 本科目を修得した場合、レポートや卒業研究論文や予稿の作成において文書の論理構造を指定するだけで最高の印刷結果を得ることができる。		
〔学習上の留意点〕 本科目においては、誰でも最終出力がディスプレイで確認できる WYSIWYG 形式ではなくマークアップ形式を採用している LaTeX2e を利用することを前提としている。これは文書の整形出力のための制御命令を書き入れることで実現しているので、制御命令の役割を理解することが求められる。学生は講義内容を理解するために、毎回、予習や演習問題等の課題を含む復習として 80 分以上の自学自習が必要である。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. LaTeX2e とは	1	TeX, LaTeX の種類と歴史を理解する。 文書の論理構造を理解する。
2. LaTeX2e のインストール方法	1	Windows 環境と UNIX 系の環境でのインストール方法を理解する。
3. 基本的な文書の作成方法	4	基本的な記述方法、基本操作方法を理解する。 段落、箇条書き、引用などを利用できるようになる。 環境を理解する。
4. 表組み	2	tabular 環境を使用できるようになる。
5. 数式の書き方	2	数式モードと色々な記号の表し方を理解する。
6. 図の取扱い	2	取り扱える図の形式を理解する。 graphicx パッケージを使用できるようになる。
7. 図・表の配置	2	table 環境, figure 環境を使用できるようになる。
8. 相互参照・目次・索引	2	相互参照を利用できるようになる。 目次, 索引 (図, 表) を自動生成できるようになる。
9. 総合演習	2	これまで習得したことを利用してしおりを作成してみる
10. パッケージと自前の命令	2	パッケージの利用方法を理解する。 簡単な命令を自作できるようになる。
11. 文献の参照	2	参考文献の作り方と参照の方法を理解する。
12. 欧文和文フォント	2	利用できるフォントの種類と利用方法を習得する。
13. ページレイアウト	2	詳細なページレイアウトの指定方法を理解する。
14. 総合演習	4	LaTeX2e を利用して報告書を作成できるようになる。
〔教科書〕 改訂4版 LaTeX2e 美文書作成入門 奥村晴彦 技術評論社		
〔参考書・補助教材〕 なし		
〔成績評価の基準〕 小テスト・レポート(100%)－授業態度(30%)		
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関係〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 3-2		
〔JABEEとの関連〕 (c)		